

株主・タウンミーティング（千葉）

株式会社
良品計画



《注意事項》

・イベントの様子をスタッフが撮影します。ご了承くださいませ。

出席者紹介



河村 玲

(株)良品計画 執行役員
ソーシャルグッド事業部
兼千葉事業部管掌



秋吉 武士

(株)良品計画
営業本部千葉事業部長



宝地戸 健太

(株)良品計画
経営企画部 部長

無印良品について

無印良品のあゆみ



1980年 無印良品誕生

消費社会へのアンチテーゼとして誕生。
当時は西友ストアのプライベートブランド。



「わけあって、安い」

代表的な商品「こうしん われ椎茸」



1983年 直営1号店開店

直営1号店「無印良品 青山」がオープン

無印良品について

無印良品のあゆみ



1989年 (株)良品計画設立
設立後、2000年東証一部指定



1991年 海外展開開始
イギリス、香港にオープン



2005年 上海現地法人設立
無印良品（上海）商業有限公司設立

無印良品について

ものづくりの考え方

良品計画は1980年のブランド創生以来、3つの視点でものづくりを続けてきました。

素材
の選択

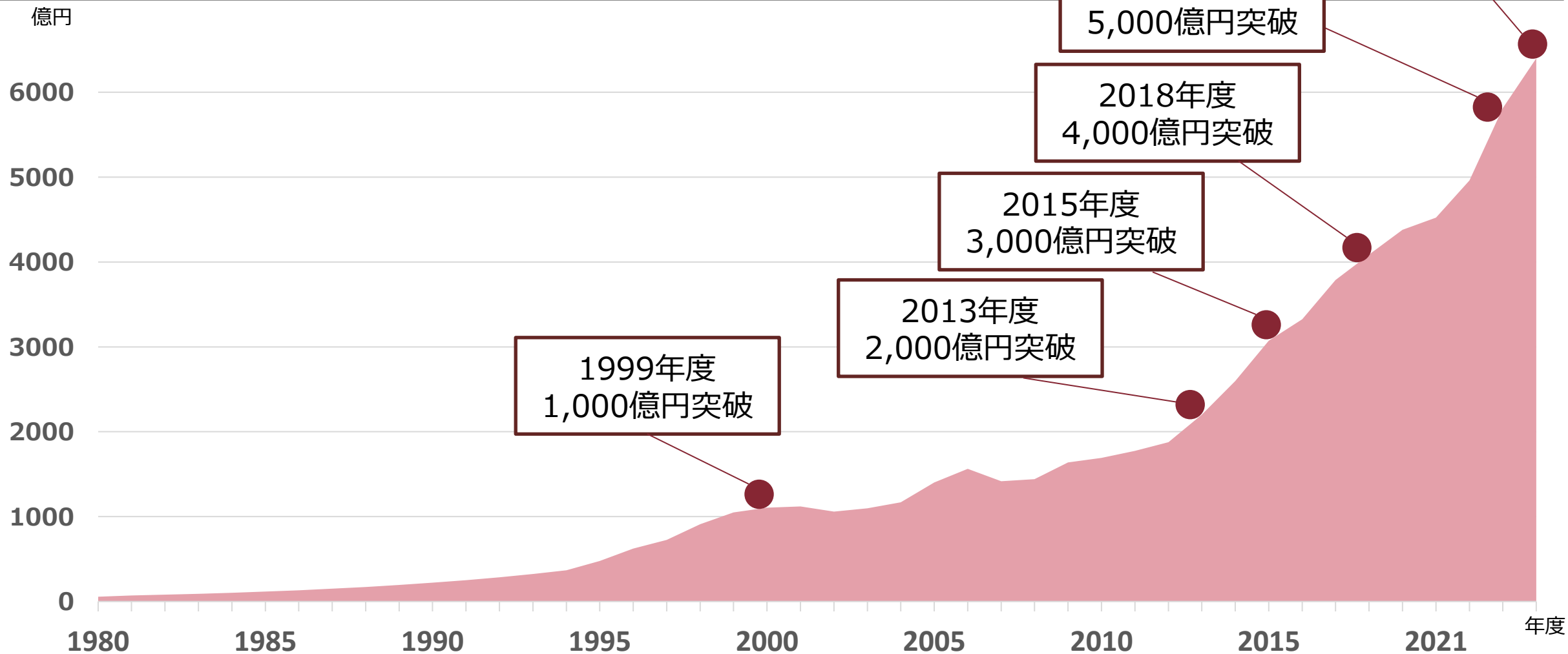
工程
の点検

包装
の簡略化

地球環境や生産者に配慮した素材を選び、すべての工程において無駄を省き、
本当に必要なものを本当に必要なかたちで
お客様に提供することを目指した、実質本位のものづくりです。

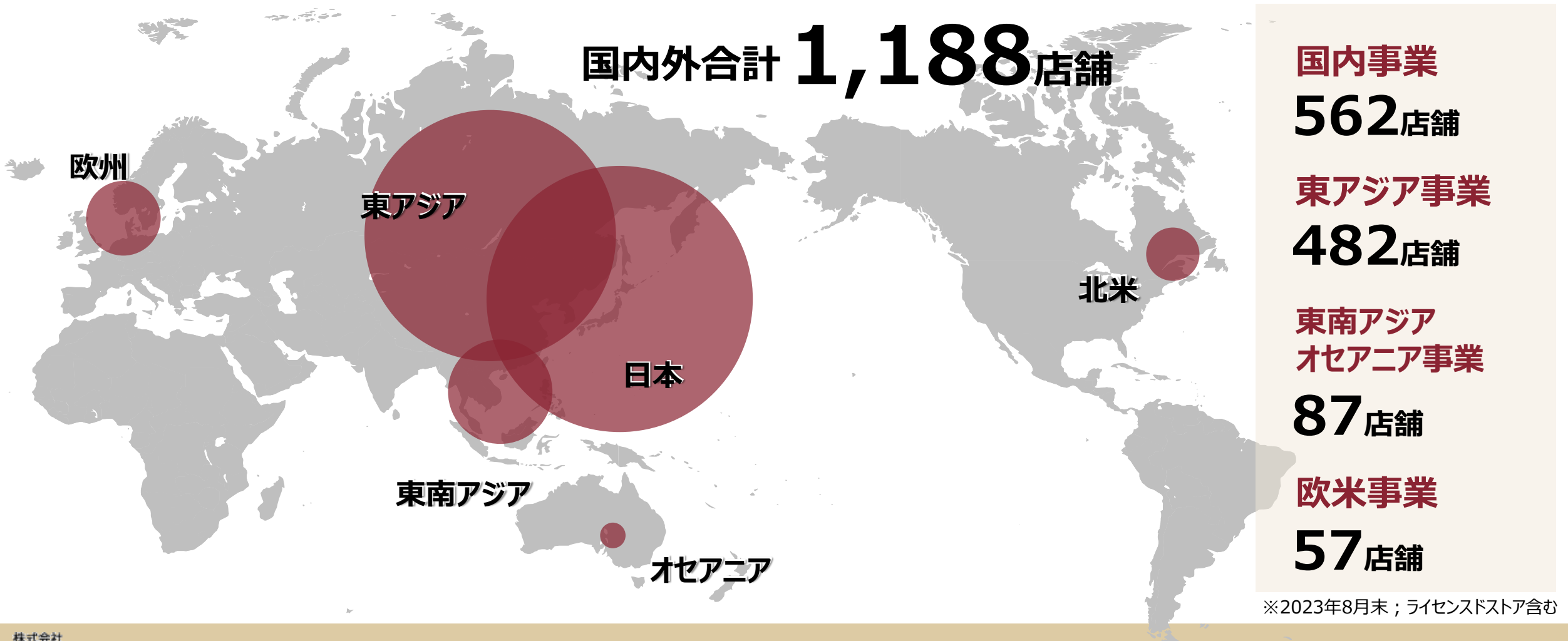
良品計画について

売上の推移



良品計画について

世界に広がる無印良品



感じ良い暮らしと社会に向けて

無印良品の誕生から43年、思想の根幹は誕生当時と変わらず、活動の幅は大きく広がっています。良心とクリエイティブから生まれるさまざまな商品や、地域社会の課題に役立つ事業やサービスを通し、これからの「感じ良い暮らしと社会」が広がる未来を描いています。

生活の基本が揃う店舗

無印良品

衣服・雑貨	生活雑貨	食品
		
		

地域のコミュニティセンター

地域資源の活用：
地域事業者との協働、地域産物の販売

 イベント/ワークショップ	 つながる市 (P.55)	 地域限定開発商品
 生鮮食品	 商店街店舗での一坪開業 地域事業者の出店支援	 CafeSMeat (地産地消)

資源循環：
お客さまと協働した製品の循環、廃棄物削減

 MUJI CYCLE (P.48)	 ReMUJI (P.48)	 もったいない市 (P.48)
---	--	---

くらしを支えるサービス：
お客さまのウェルビーイングの向上

 移動販売	 もちの保健堂 (P.55)	 MUJI SUPPORT (P.52)
---	--	---

「感じ良い暮らしと社会」のプラットフォーム

空間設計事業：感じ良い住まいづくり、空間づくり

 住まいの設計	 公共デザイン	 空間リノベーション
---	---	--

地域の再生・活性化：地域資源の紹介、遊休不動産の活用

 商店街の活性化	 道の駅への出店	 旧地再生/リノベーション
 学校の活用	 空き家再生	 産物良品 (地域産物の販売)

宿泊事業：宿泊施設の企画・運営、地域体験の提供

 MUJI BASE (P.56)	 MUJI HOTEL	 キャンプ場
--	--	---

コミュニティ・交流：
自治体や地域事業者・生産者との協働、イベントの開催

 いつものものも (P.58)	 登山安全	 アートイベント
---	---	--

財務KPI	2023年8月期実績	2024年8月期計画	2026年8月期目標
営業収益	5,814億円	6,400億円	8,500億円
営業利益	331億円	480億円	750億円
店舗数	1,188店舗	1,331店舗	1,750店舗
ROA (総資産経常利益率)	8.5%	10.3%	13%以上
ROE (自己資本当期純利益率)	8.7%	12.6%	15%以上

2030年に実現したいこと

日常生活の
基本を担う地域への
土着化

良品計画は、提供する商品やサービス、活動を通して、資源循環型・自然共生型の社会、持続可能な社会の実現に貢献します。

2030年に向けて取り組むこと

6つの重要課題

① 商品力の強化

② 生産の内製化

③ 商品マーケティングの強化

④ 店舗網・新チャネルの確立

⑤ オペレーション強化

⑥ 本業としてのESGの確立

注力ポイント

商品力の強化

- 「地球環境を維持する商品」
- 「社会課題を解決する商品」
- 「生活者個人の個性が輝く商品」
- 「文化や伝統から学ぶ商品」

第二創業の基盤完成

日常生活の基本を支える最強で最良の基本商品群と調達・生産体制の完成

個店経営を軸とした地域密着型の事業モデルが完成し、全国津々浦々への出店を実現

自発的な組織風土による、各店・各国・地域の自律的成長の実現

個店経営と土着化を支える事業基盤の完成

新しい産業構造の構築

「地域分散資源循環業」

グローバルなサプライチェーンモデルを維持しながらも、それに加えて、地産地消型のサプライチェーンの事業モデルもしっかりとつくり上げていく

個店経営、
コオウンド経営の
実践感じよい
オンラインの提供ESG経営の
トップランナー

「感じ良い暮らしと社会」の実現に貢献

良品計画の目指す姿

企業理念

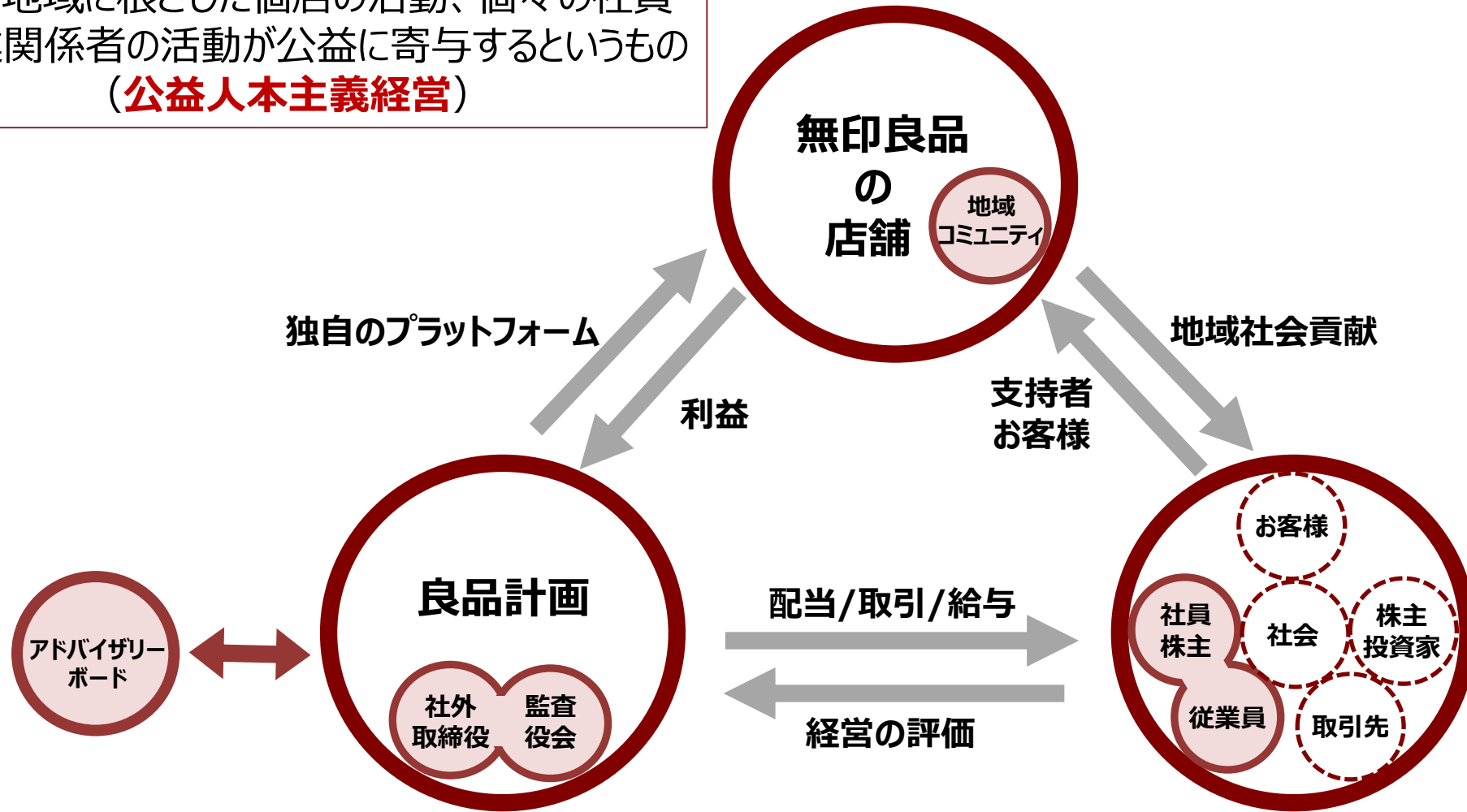
「人と自然とモノの望ましい関係と心豊かな人間社会」
を考えた商品、サービス、店舗、活動を通じて
「感じ良い暮らしと社会」の実現に貢献する。

二つの使命

1. 日常生活の基本商品群を誠実な品質と倫理的な視点から開発し、使うことで社会を良くする商品を、手に取りやすい価格で提供する。
2. 店舗は各地域のコミュニティセンターとしての役割を持ち、地域の皆さまと課題や価値観を共有し、ともに地域課題に取り組み、地域への良いインパクトを実現する。

良品計画の目指す姿（新たなガバナンス構想）

オーナーシップを持った社員を事業活動の主役に据え、地域に根ざした個店の活動、個々の社員や事業関係者の活動が公益に寄与するというもの
（公益人本主義経営）



ステークホルダーとの関係づくり

株主とのつながり

株主ミーティングの開催（2023年11月23日/祝日）

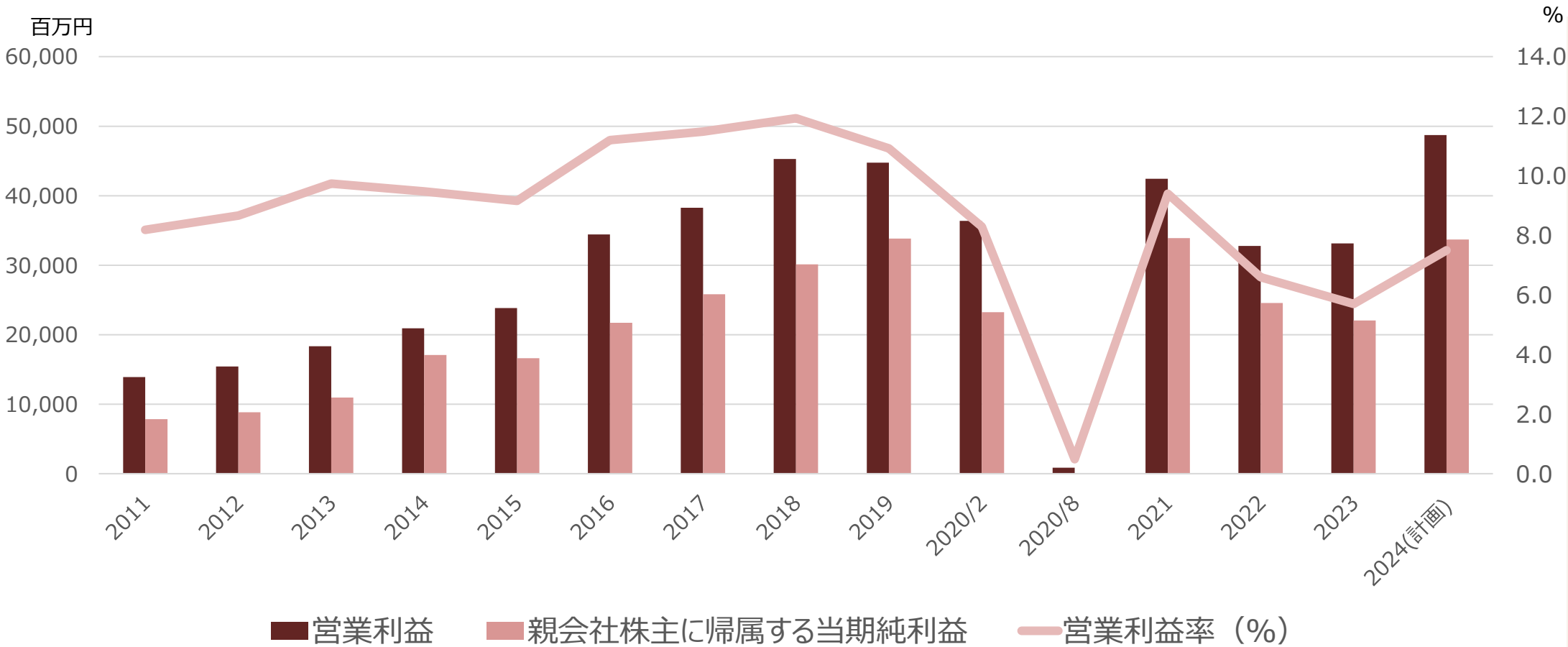
先期に引き続き、祝日に株主総会を開催し、約950名の方が会場あるいはオンラインにて参加。総会后、株主の皆様と当社経営陣の間で、ビジョン、商品、店舗運営等を直接意見交換する場として、株主ミーティングを実施。



※当日の様様を、当社WEBサイトで公開しております。 https://www.ryohin-keikaku.jp/ir/shareholders_meeting/

財務情報

営業利益・当期純利益／営業利益率の推移



23年8月期

営業利益

331億円

親会社株主に帰属する当期純利益

220億円

営業利益率

5.7%

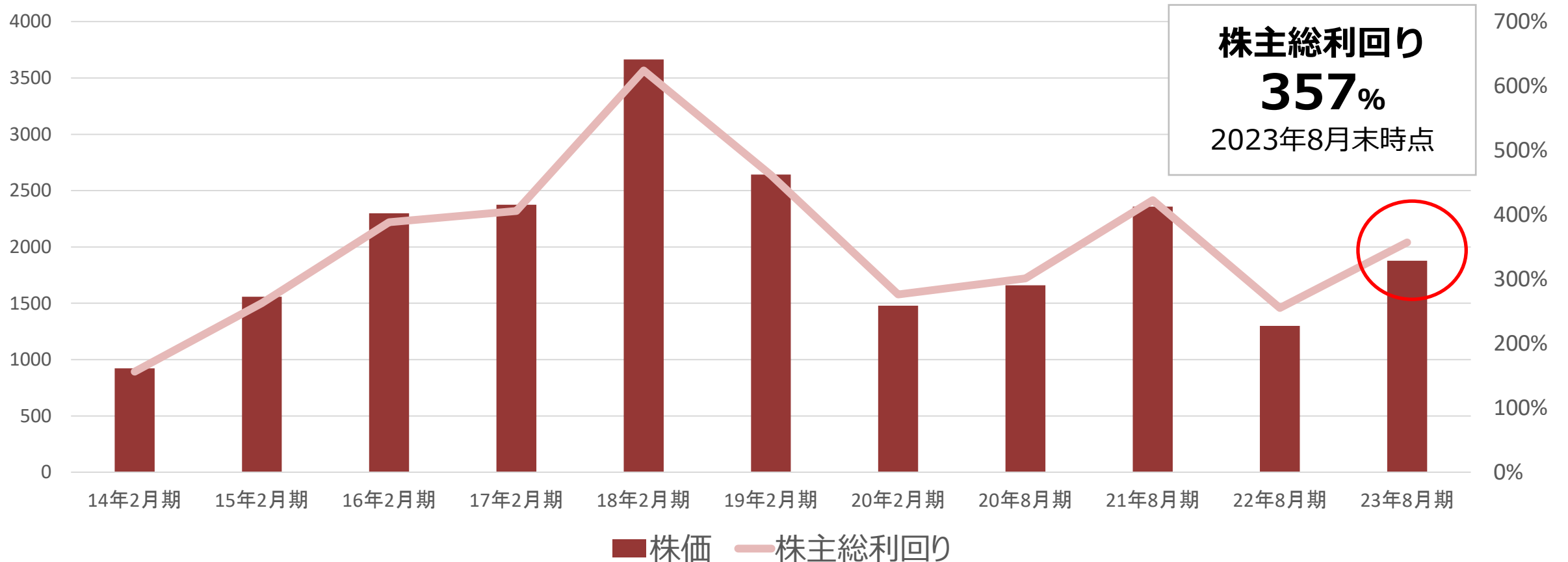
注: 2020年8月期は、決算期変更のため6か月の数値です。

財務情報

株価/株主総利回り

株主総利回り (TSR) =
株式投資により得られた収益 (キャピタルゲイン + 配当) ÷ 株価

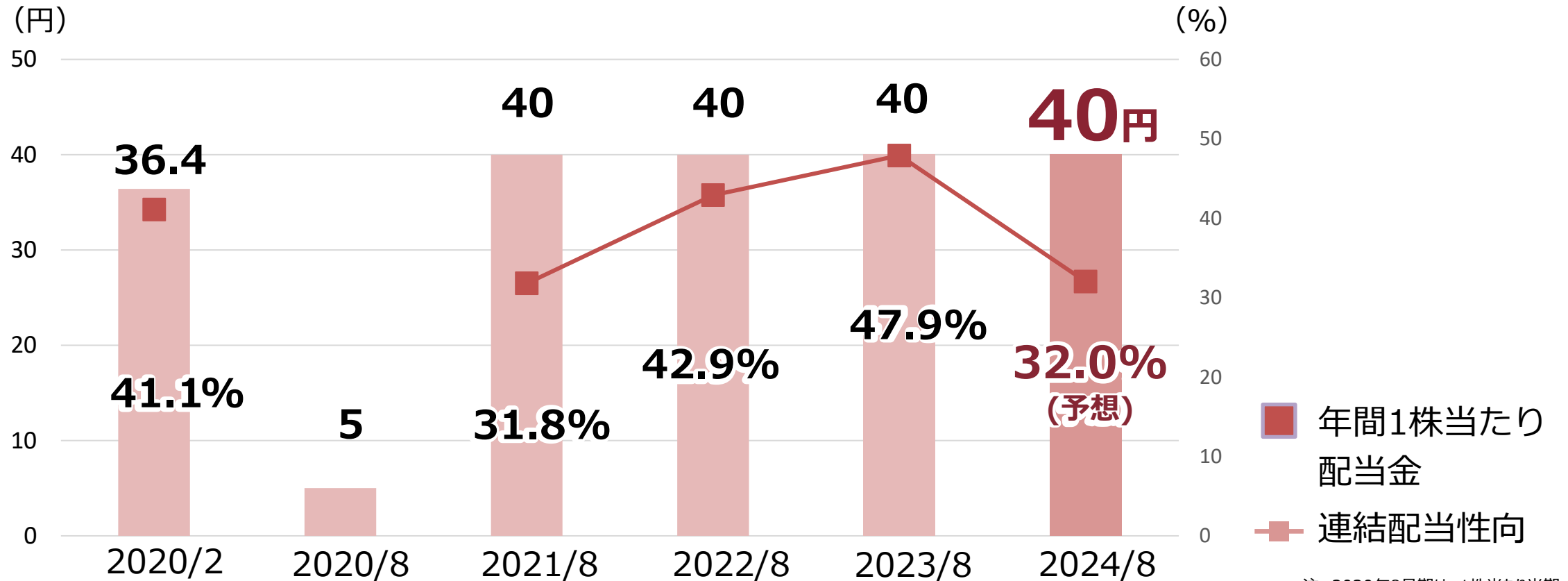
株価と株主総利回り (2013年2月期末を基準) の推移



財務情報

株主還元－配当

当社は、連結での業績に基づいた配当とし、配当性向30%(年間)を基準にしております。



注：2020年8月期は、1株当たり当期純損失のため、記載していません

財務情報

株主還元－株主優待

株主の皆様との中長期的な関係づくりを強化するため、株主優待を正式導入。
2019年に株式を10分割し、投資単位を引き下げ。株主数は分割前の約1.4万名から約15万名に増加。2023年12月末日時点の最低投資金額は23万円程度。



- 対象:毎年8月末または2月末時点で100株以上保有する株主様
- 優待の内容 : お買い物**5%割引**
(期間中は何回でも利用可)

※12月末時点の株価（2,359円）、1株当たり配当40円で試算

お買い物額	優待割引額 (円)	優待利回り	配当利回り	実質利回り (優待+配当)
3万円	1,500	0.6%	1.7%	2.3%
5万円	2,500	1.1%	1.7%	2.8%
10万円	5,000	2.1%	1.7%	3.8%

「IRメール配信サービス」のご案内

最新のIR情報や、株主様ならびに当社株式に興味をお持ちの方向けのイベント情報等をメールでお届けいたします。ぜひこの機会にご登録ください。





地域事業部による土着化の取り組み 「千葉事業部」



10の地域事業部 ※2024年2月現在

北海道事業部

千葉事業部

信越事業部

横浜事業部

群馬事業部

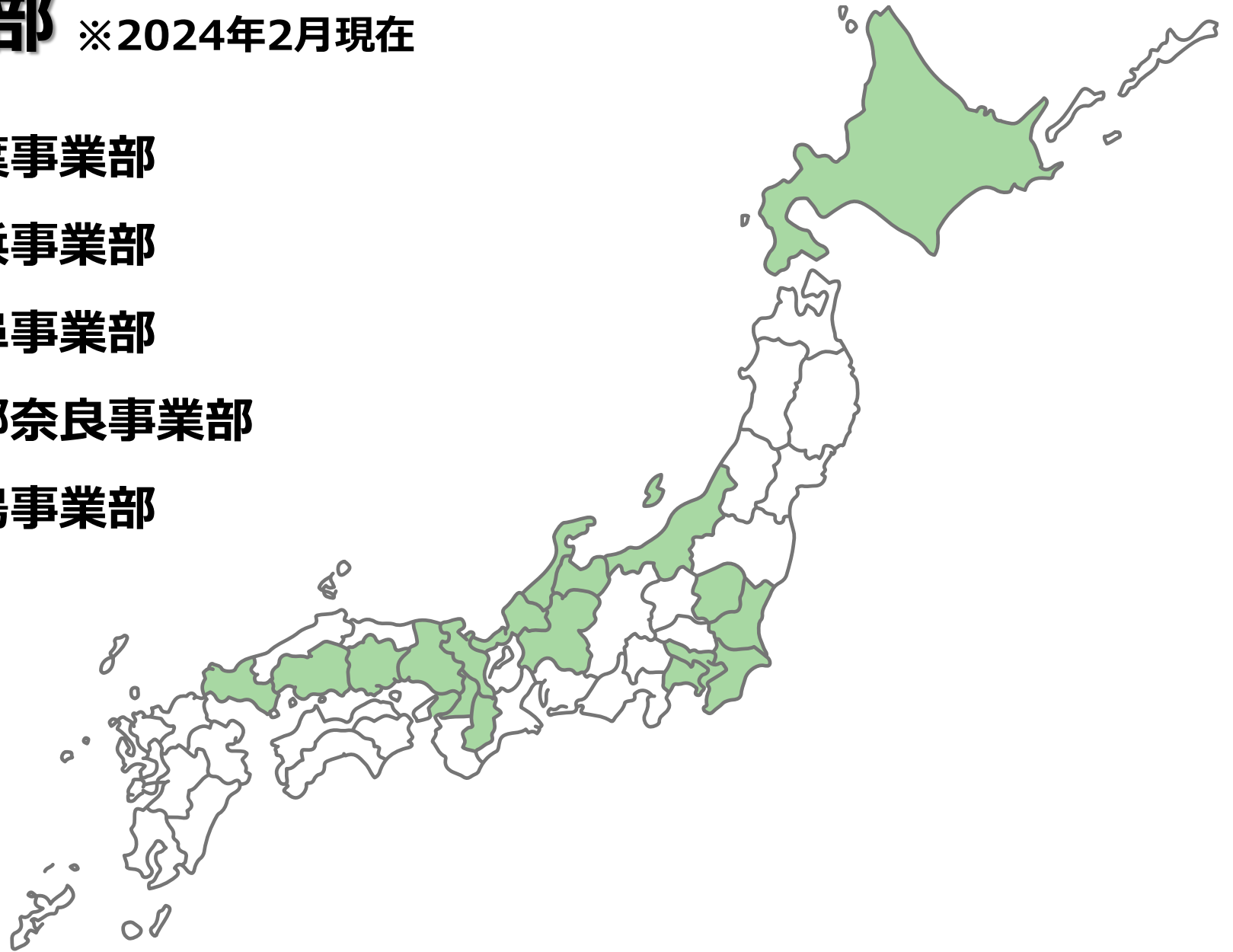
岐阜事業部

新宿事業部

京都奈良事業部

銀座事業部

広島事業部



千葉県内の店舗数



ソーシャルグッド事業部と重点地域である千葉を、
店舗事業面、地域事業面の両面で連携し、
地域活性化の深堀りを行っています。

地域活動のはじまり



鴨川里山トラスト

2014年5月～

釜沼北集落において
「鴨川里山トラスト」
活動をスタート



鴨川里山トラスト

2014年以降、コロナ禍を除き毎年田植え・稲刈りなどをお客様参加型で実施（写真は2023年）



里のMUJI みんなみの里

2017年4月～

鴨川市と
「地域活性化に関する
協定」を締結

2018年4月～

鴨川市総合交流ターミナル
里のMUJI みんなみの里
オープン



里のMUJI みんなみの里

野菜などの産直売り場や、加工品販売の支援としての開発工房と
無印良品店舗が併設



MUJI BASE KAMOGAWA

2023年8月～

MUJI BASE
KAMOGAWA
宿泊事業開始



MUJI BASE KAMOGAWA

鴨川市長狭地区にある築100余年の古民家をリノベーション



Café & meal MUJI リニューアルオープン

2023年4月～

里のMUJI みんなみの里
Café & meal MUJI
リニューアルオープン



地域産食材の活用拡大



南房総エリア産
+
千葉産の食材使用率

リニューアル前
35%



現在
70%以上

食と農：地域食材の商品化



インディカ米の栽培
商品開発

現在
栽培量 18t



今年
24年1月より
商品化実現

鴨川市産 プリンセスサリー

- ・商品名 「千葉県鴨川市産プリンセスサリー」 (2kg/真空パック)
- ・価格 税込1,680円



・種籾の入手から協力生産者の選定と委託、加工業者の選定など一貫して当社が中心となって体制を組み進めてきました。23年4月より、地域の生産者と協力して作付けをスタートしました。23年秋に収穫されたお米は当社で全量を買取り、商品化。まずは当社が指定管理者として運営している「里のMUJI みんなみの里」にて2kgの真空パックで1月26日(金)販売開始致しました。

・周囲で作られている品種に比べて差別化が見込めるため、買取り価格アップにつながり、生産者の収入向上も目指します。

1月26日 みんなみの里で2kgパック及びカフェメニュー（スープカレー）開始

2月28日 銀座で300gの少量パック商品を先行販売スタート

7月中旬 直営150店舗のカレーTAにて販売スタート、諸国良品で販売開始



鴨川市産 プリンセスサリー



日本酒

現在国内10店舗で販売



安房鴨川 里山GIN

- 商品名「安房鴨川 里山GIN」
- 内容量180ml アルコール分40度
- 価格 税込2,330円
- 発売日 2024年2月9日（金）

- 鴨川産の米の可能性を拡げるもう一つの取り組みとして、鴨川で生産された飯用米（コシヒカリ）を原料とする日本酒（純米酒）を使ったクラフトジン「安房鴨川 里山GIN」をつくりました。
- 鴨川のレモン、近隣の里山で採取したクロモジとヤブニッケイも香り豊かなフレッシュな葉の状態で使いました。

無印良品の限定14店舗にて発売。



地域事業者と里山体験



地域事業者と里山体験

- ・千葉県は無印良品店舗がプラットフォームとなり、一般の参加者を募集
- ・23年11月25日、26日の二日間実施で、参加者約12組36名のお客様が参加。無印良品としても、観光資源を活用した体験型イベントは初の取り組み
- ・24年は、3月と4月にいちごやフルーツトマトといった、食のワークショップを実施致しました。



房総・鴨川 農作物を育む地域の原風景広がる房総の

2023.11.25(土)・26(日)

日帰りでアグリ体験

無印良品

みなみの里

須藤牧場

酪農発祥の地で酪農家体験!

牧場体験＝乳搾り体験、と考えるのではなく、通常の牧場体験を超える、4代目牧場主の案内による一日酪農家を“経験”する特別な120分。年たらのふれあい、秘密めいた牛乳飲み比べ、そして酪農の歴史探訪。一緒に牧場で小さな冒険をしよう

食のワークショップ

メロン農家とシェフの挑戦

ランチ付き

生産者・シェフからこだわりのアリアメロンについて学んで、作って、食べるワークショップ。作物を無駄にしない工夫や、野菜の美味しい作り方など、農家の仕事の奥深さを知り、シェフの強の中を覗くことで、食に対して新しい発見をしよう!

【日時】11/25(土)・11/26(日) 10:30~16:00 【定員各日】16名 【対象者】小学生以上(未就学児付添い可)
【費用】大人3,000円・子ども1,500円(ランチ代別、付添いの未就学児は無料)
【開催場所】里のMUJIみんなみの里(千葉県鴨川市1696) 須藤牧場(千葉県館山市安337)

イベントに参加できなくても...
今ならクイズに参加して鴨川のハーブ農家・苗目さんのハーブティーがもらえる

アグリ体験の詳細情報、
予約、クイズへの参加はこちら
申し込み用のQR: 実施日2日前まで

地域事業者と里山体験



住宅：オフグリッドトレーラーハウス



＜ご参考＞ 2024年 鴨川里山トラスト スケジュール予定



5月 田植え

6月 草取り

7月 草取り

9月 稲刈り

11月 収穫祭

12月 しめ縄飾りづくり

その他、地域生産者と連携した
様々な体験を計画しております

里のMUJIみんなみの里 施設リニューアル



里のMUJI みんなみの里 施設リニューアル
千葉南房総の自然、文化、食体験を核としたコミュニティセンターへ

里のMUJI
みんなみの里
里山デッキ 9:00-18:00

里山おにぎり
長狭米と照り唐弁
スチールパン演奏
キッチンカー

里山を楽しもう

漬物を嗜む
絵本の音読会
焚火マシュマロ
餅割り

GWイベントカレンダー

※QRコードから
イベントスケジュールを
ご確認ください

コンテンツ	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
里山おにぎり販売	○	○	○	○	○	○		○	○	○
長狭米と照り唐弁	○	○								
スチールパン演奏									○	○
絵本の音読会					○	○				
餅割り・焚火マシュマロ			○	○			○	○	○	○
キッチンカー販売	○	○	○		○	○	○	○	○	○

※天候などによりイベントスケジュールを変更する場合がございます

里のMUJIみんなみの里 施設リニューアル

耕作放棄地を公園であり農園に

農業を通して、自然を通じて、子供達の心を育てる場所づくりを。

What should I make next?

一般社団法人
Soil to Soul

里のMUJIみんなみの里の旗
Soil to Soul FARM PARK@鴨川
(読み:そいるとーそうるふーもーむーびーくがちがわ)

開園時間 9:00~17:00

この公園は長らく耕作放棄地とされてきた土地を子供とこの土地の未来のために、「農地公園」として活用した新しい公園です。子供たちは自ら考え、自由に遊び、様々な果樹や草花、子供たちがつくる農作物やそこに生きる昆虫、動物たちと触れ合いながら鴨川の素晴らしい里山の自然を身近に感じることができます。

公園でできること

会える動物 ブドウ、ぶらお、鶏、野鳥や昆虫、池の生き物などがあります	遊べる施設 子供公園の中心には「遊ぼう屋」があり、草花畑に遊ぶことができます。約300坪の森から里山を一望できます
植えられている植物 300坪のブドウのモレバネセイゴイサを主軸に、年間150種類以上の果樹や菜類、子供と育てる作物があります	※ぜひ、地域のみなさまでの受け入れをお願いします。

お問い合わせはこちらまで → Mail: info@soilto-soul.com TEL: 03-550-0944 (name: tamara stand)

2024年4月27日(土)
午前9:00同時OPEN

施設詳細やGW期間のイベントはQRコードを確認

里のMUJI みんなみの里

Soil to Soul FARM PARK Instagram

みんなみの里 里山デッキ
開放時間 9:00~18:00

Café & Meal MUJIの隣りに「里山デッキ」を増設しオープンします。子供たちは公園で遊んだり、親子で食事をしながら、その先に広がる公園や里山の眺望を楽しむことができますようになります。イベント開催や、地域活動の発表ができ、地域の方との交流が生まれる場として活用いただけます。

デッキ・芝生広場でできること

ピクニック デッキや芝生広場のベンチ、貸し出しシートで里山の景色を眺めながらCaféのメニューや、お弁当を食べます	イベントやワークショップ 果、野菜、漬物、魚を売るなどのイベントも季節に合わせて開催します
キッチンカー 施設にはキッチンカーで地域の食を味わえます	遊具貸し出し 里山から採れたボールやフリスビーなどの遊具の貸し出しをします ※こどもをイベントで遊ばせたい、活動の発表をしてみたい等、お気軽にご相談ください。

お問い合わせはこちらまで → TEL: 04-7099-8055 (里のMUJIみんなみの里)

里のMUJI みんなみの里

里のMUJIみんなみの里 施設リニューアル



農地公園での子供が多く滞在時間長



マスコットのポニー

地域を知る・溶け込む：つながる市

開催店舗：アリオ市原

近隣商店・農家の方の出店の他、市原市農業振興協会のご協力もいただき大規模開催も実施

つながった出店者様の中には、定期的に店内ワークショップを開催いただくなどその先のつながりにも発展



地域を知る・溶け込む：つながる市

開催店舗：柏ステーションモール

柏野菜を広める活動をされている「ろじまる」様出店。生産農家の方も参加いただき、店頭でお客様と直接コミュニケーション



地域を知る・溶け込む：つながる市

開催店舗：イオン市川妙典

地元の商店からの出店の他、近隣大学の学生さんが主体となった出店や地元作家さんを招いてのワークショップも開催



地域を知る・溶け込む：つながる市

開催店舗：ユニモちはら台

地元行政と連動し毎月店内で絵本読み聞かせを開催

館と連携し館内メインステージで地域ワークショップを定期開催し地元の良い品を情報発信

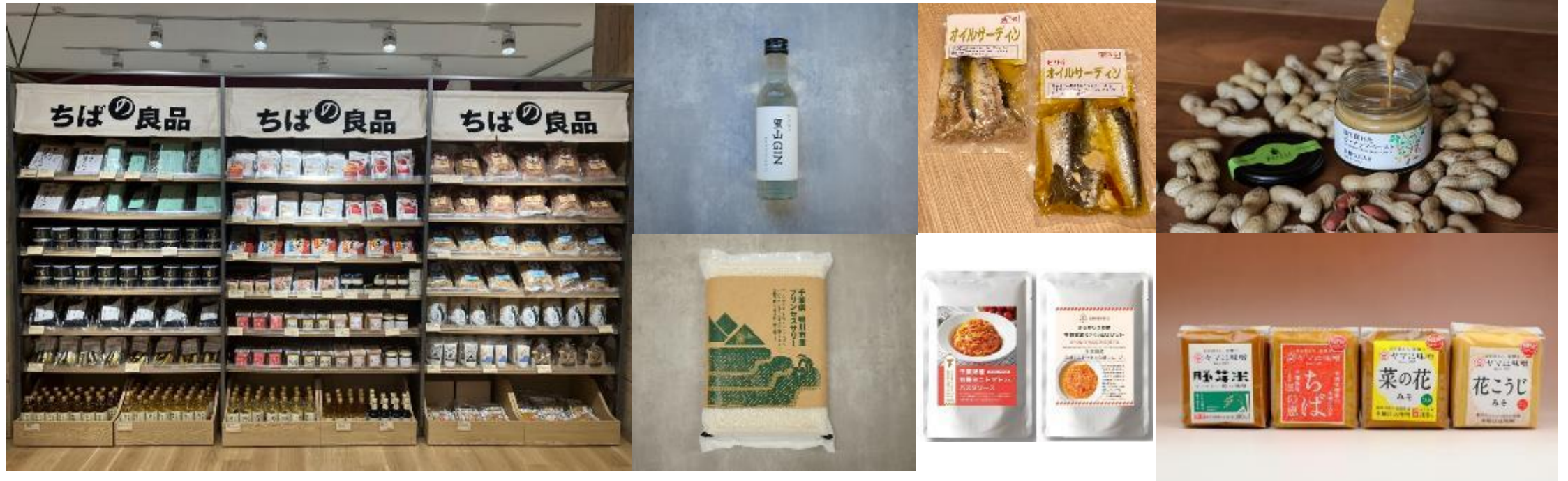


地域を知る・溶け込む：ちばの良品

千葉県各地の選りすぐりの商品を県内限定店舗で販売しています。

基本の調味料、地域の生鮮品を地元で加工した商品、地域の企業、団体と協力して開発した商品などを品揃えの考え方、開発の背景などの紹介とともに販売しています。

今後は県外の店舗でも販売をスタートし、商品を通じて千葉の魅力を発信していきます。



国産材・県産材活用について

農林水産省と「木材利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結

建築物の木造化・木質化を通じて2050年カーボンニュートラルの実現に貢献

2023.05.31



株式会社良品計画（東京都豊島区／代表取締役社長 堂前 宣夫）およびグループ企業である株式会社MUJI HOUSE（東京都豊島区／代表取締役社長 堂前 宣夫）は、本日5月31日（水）、農林水産省と「木材利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結しました。

本協定は、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の成立に伴い創設された「建築物木材利用促進協定」制度に基づくものです。

良品計画グループは、「感じよい暮らしと社会」を実現するという企業理念のもと、提供する商品サービスや店舗、活動を通じて、資源循環型・自然共生型の社会、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。今回、農林水産省の掲げる「木材利用（ウッド・チェンジ）促進による、脱炭素社会・持続可能な社会の実現」の趣旨に賛同し、協定の締結にいたしました。当社ではこれまで店舗での地域木材の活用を進めてまいりました。今後は、これまで住宅関連で培ってきた木材の利用に関するネットワークや技術を活かし、建設予定の店舗において、一層積極的に国産材を活用するよう努めます。また、木材利用の意義やメリットについて積極的に情報発信を行い、店舗内においても様々な活動を通じて、木材利用の推進にも取り組んでまいります。



今後、建設予定の店舗の木造化・木質化についてはグループ企業である株式会社MUJI HOUSEが持つ技術を活用してまいります。株式会社MUJI HOUSEでは2003年より「刷印良品の家」を中心とした建築事業を行っており、これまで約3,000棟以上の住宅の建築実績がございます。これらの建築物において、耐震構法「SE構法」を採用しております。SE構法は大規模な木造建築物の技術を基に開発された技術であり、耐震性の高さ、従来の在来工法では実現が難しい大空間を実現することができます。これらの技術、設計および施工実績を今後の店舗の木造化・木質化に活用してまいります。

また、建築物の木造化・木質化の技術を良品計画グループ内での活用だけでなく、グループ外からも積極的に受注していく体制を整え、木造建築物を拡大していくことで脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

「建築物木材利用促進協定」締結の目的

本協定は、良品計画グループの「建築物の木材の利用に関する構想」および「木材の利用の促進に関する構想」について、良品計画グループ、農林水産省が連携・協力することにより、良品計画グループによる取組を促進し、構想の達成に寄与することを目的とする。

「建築物木材利用促進協定」の概要

- ・協定の名称：木材利用拡大に関する建築物木材利用促進協定
- ・対象区域：全国
- ・有効期間：締結の日から、令和10年3月31日まで
- ・内容

1. 株式会社良品計画の「建築物の木材の利用に関する構想」

(1) 構想の内容

自社の木造店舗等の整備にあたり、構造材や内外装に木材を積極的に活用することにより、2050年カーボンニュートラルの実現や山村の活性化等に貢献していく。また、合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（平成28年法律第48号、以下「クリーンウッド法」という。）第2条第2項に規定する合法伐採木材を利用することにより、SDGsに貢献していく。

(2) 構想の達成に向けた取組の主な内容

- ・株式会社良品計画と株式会社MUJI HOUSEが連携し、今後5年間に新たに建設予定の木造店舗等において、計10,000㎡を目標として、国産材を積極的に活用するよう努める。その際、クリーンウッド法に基づく登録木材関連事業者により合法性が確認された合法伐採木材を利用するよう努める。
- ・株式会社良品計画と株式会社MUJI HOUSEが連携し、木材利用の意義やメリットについて積極的に情報発信すると共に、店舗内においての来店者等に向けた木育活動を通じて、木材への親しみや木の文化への理解促進に努める。

2. 株式会社MUJI HOUSEの「木材の利用の促進に関する構想」

(1) 構想の内容

- ・株式会社良品計画が推進する木造店舗等の整備実現のため、木造建築物の合理的かつ安全な木構造技術、建築物の省エネ等の積極的な推進に向けた技術提供を積極的に行う。
- ・株式会社良品計画が推進する木造店舗等の整備における合法伐採木材の利用を促進するため、合法伐採木材の供給元の開拓等を積極的に行い、合法伐採木材の安定供給等の協力を行うとともに、森林資源の循環利用、ひいては2050年カーボンニュートラルの実現に貢献していく。

(2) 構想の達成に向けた取組の内容

- ・全国での木造店舗等の整備にあたり、あらかじめ供給体制を整え、店舗等の建設で求められる品質、量及び価格の合法伐採木材の供給を適時に行うよう努める。
- ・木造店舗等の設計施工実績を元に木造店舗の良品計画グループ外への販売活動を強化し、木材の利用促進に努める。
- ・木造店舗等に利用した木質部材や供給体制の構築等の取組について、他者による取組の参考となるよう、情報を広く発信する。

3. 構想の達成のための農林水産省による支援

良品計画グループに対して技術的助言や活用可能な補助事業等の情報提供を行うとともに、定期的な意見交換や木材利用に関する相談窓口・専門家の紹介などを行う。また、本協定に基づく良品計画グループの取組を積極的に広報する。

良品計画およびMUJI HOUSEは、本協定を通じて木材使用の促進し持続可能な社会の実現を目指してまいります。

県産材活用について（千葉県）

千葉県産材の使用促進

千葉県の木材のみを扱う長狭木材工業株式会社に依頼し鴨川を含む材をデッキ床に杉を使用。(280㎡)
ベンチやスツールも地域事業者の大工に依頼。里山の雰囲気にも合うよう、丸太そのままを活かし塗装も色を付けずに施工。地域内で材も経済も循環する仕組みを今後も構築する。



県産材活用について

できること



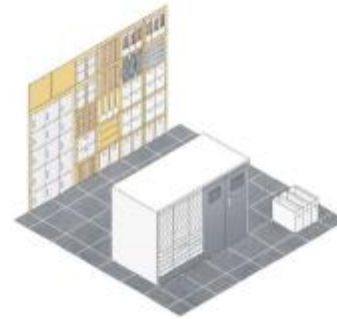
意識醸成プログラム



内装・家具・什器



地域材の活用



整理収納・事務用品



一坪喫茶



オフィス防災



アートセレクト



音のデザイン



ユニフォーム

店舗を通じて地域資産が循環する

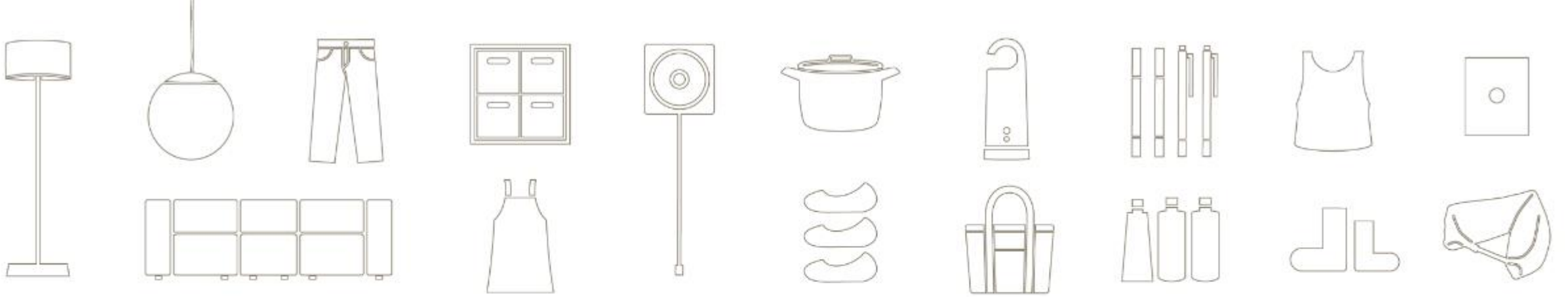


株主・タウンミーティングアンケート

本日は株主・タウンミーティングにお越しいただき、ありがとうございます。
今後の株主・タウンミーティングの運営の参考にさせていただきたく、
イベント後にアンケートにご協力いただけますと幸いです。



左記のQRコードを読み込み、ご回答ください。
お時間がない場合、後日の回答でも問題ございません。
どうぞよろしくお願いいたします。



株式会社 良品計画

RYOHIN KEIKAKU CO., LTD.



<免責事項>

- 当資料に記載されている内容は当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。
- 当資料に記載されている当社の財務状況、経営方針、計画、業績目標等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報を基にした予想値であり、これらはリスクや不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、これらの予想とは大きく異なる可能性があります。
- 各種データ・資料については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

